



## 県本部第116回中央委員会の開催について

6月25日（金）、前橋問屋センター会館において第116回中央委員会が開催され、太田市職労からは県本部要請が1名の出席であることから代表で相場委員長が出席しました。今回の中央委員会では春闘の総括、並びに第26回参議院議員選挙闘争が主な議題でした。

自治労では、「1年のたたかいのスタートは、春闘から」として、春闘は年間の闘争サイクルを確立するための重要なたたかいであると改めて位置づけ、取り組みを強化しており、太田市職労としても春闘も重要な労働改善要求期間として実施しています。

また第26回参議院選挙闘争の取り組みの推進に向けて、県本部として、獲得目標を18,000と設定し、全組合員の自らの政治闘争へ結集を追求し、取り組みを推進することとしました。今回、組織内候補予定者『鬼木まこと』は現職の自治労本部書記長であるものの、個人名は組合員間には知られていません。まずは選挙意識の醸成を図るため、個人名『鬼木まこと』を覚えていただきたいと考えております。

第26回参議院全国比例区選挙 自治労組織内候補予定者

おにき

# 鬼木まこと

自治労中央本部書記長

公共サービスの誠のために

自治労の  
政策要求を  
実現しよう!

LINE公式アカウントの  
「友だち」に  
なってみよう!

自治労は、第26回参議院選挙の全国比例区に「鬼木まこと」さん(自治労中央本部書記長)の擁立を決定しました。

**鬼木まこと(鬼木誠)プロフィール**  
1963年福岡県筑野市生まれ。1982年福岡県庁入職。2014年から自治労中央執行委員。現職に至る。

## 団体生命共済の改正について



自治労では組合員の可処分所得の確保と労組の財源確保の観点から長年に渡り団体生命共済を推進してきました。単組の財政だけを考えると手数料収入が入ることから群馬県本部としては積極的に団体生命共済を推進していますが、今般、抜本的な改正が行われることから、太田市職労として今後の団体生命共済の取り組み方について見直しを行って参りました。結果、労働組合本来の考え方に則り、組合員の可処分所得を減少させないようにすることが最も重要であると考え、組合員のこともより単組の財政、組織運営を優先することは太田市職労として適切ではないと判断し、共済商品を提案する事業の転換を図っているところです。

共済・保険については個人の考え方と個人の保有する財産やライフステージによって入るべき商品が異なります。今回の抜本改正では若年層の掛け金が下がることもあり、個人の考え方（50歳まで共済に加入ができれば良い等）次第では加入のメリットがあります。しかしながら60歳以上の時に医療保障が必要だという組合員にとっては今回の新制度、現行制度共に非常に割高になってしまうこともあり、団体生命共済以外の選択肢も視野に入れて判断することが適切であると考えております。

また、共済については自分のための医療保障、残された家族のための死亡保障の2つを中心に考える必要があります。医療保障については群馬県市町村共済組合の付加給付もあることから最低限の医療保障で良いという組合員には全国市長会が展開する任意共済制度や県民共済（例：1日入院4,500～9,000円程度）を推奨しています。

現在、お手元に団体生命共済の募集資料があるかと思いますが、加入している組合員はもとより加入していない組合員（特に民間の保険に加入の方）は自分にあった共済・保険を考える契機となれば幸いです。



第26回参議院全国比例区選挙  
自治労組織内候補予定者

# 鬼木

おにき

# まこと

自治労中央本部書記長を  
全力で応援！

自治労は、第26回参議院選挙の全国比例区に  
「鬼木まこと」さんの擁立を決定しました。



公共サービスの  
まこと  
誠のために

LINE公式アカウントの  
「友だち」に  
なってください！

